京都総評

京都地方労働組合総評議会：発行

第 160 号

2005年5月10日

主な日程

- 5月20日　青年部最賃スタート集会（ラボール京都第1会議室ＰＭ7：00）
- 5月23日～6月22日　青年部最賃生活「げんなり！最賃伝説。」～第二章～
- 5月28～29日　第15回地域労働運動研究・交流集会（きよみず）
- 6月2日　京都地労委裁判（京都地裁ＡＭ10：00）
- 6月12日　円山青年一揆（円山音楽堂ＰＭ12：30）
- 6月23日　最賃署名提出・宣伝行動

発行所
京都市中京区壬生仙念町30-2　ラボール京都５階
京都地方労働組合総評議会（京都総評）
電話　075（801）2308　FAX　075（812）4149
E-mail　sohyo@labor.or.jp　URL　http://www.labor.or.jp/sohyo/
〈発行責任者〉　大平　勲　〈編集責任者〉　辻　昌秀

京都労働相談センター
電話　075－811－6770　E-mail　scent@labor.or.jp

STOP! 生存権の破壊！

国民に責任を転嫁するな！

消費税の大増税を許すな！

4・20 怒りの京都府民大集会

時折、雨の降る春の円山音楽堂。

悪天候にもかかわらず、今の小泉自民公明内閣の悪政に立ち向かおうと4・20怒りの京都府民大集会が開催されました。

医療・福祉・教育の後退をはじめ、憲法改悪の動き、イラク派兵など国民の生活を脅かす悪政が続いています。参加者は我慢も限界と怒りをぶちまけました。また、特別出演として集会には松元ヒロさんが出演し、今の情勢を皮肉たっぷりに「怒り」を「笑い」で表現し、憲法の前文を読み上げるなど、参加者の共感をよびました。

時には「小泉首相」に、時には「憲法くん」に変装し、ライブパフォーマンスをする松元ヒロさん

弱者いじめの実態次々と…

「障害者自立支援法に意義あり！これで、福祉と呼べるのか！1ヶ月2万円から3万円もの負担を増やす応益負担に反対します！」（障害者団体）

「今年は介護保険法の見直しの年です。見直しとは本来、改善するから見直しなのではないでしょうか？小泉内閣は今国会で給付削減でしか考えていない見直し法案を提出しています。このような改悪案阻止のため、力をあわせて頑張りましょう！」（民医連　ケースワーカー）

改悪する介護保険法の見直し必要なし！

「2004年4月、厚労省は、生活保護費を0・2％引き下げました。さらに、70歳以上の高齢者に支給されている老齢者加算を3年かけて廃止する事を決めました。その上、京都市は昨年4月、夏季年末見舞金を廃止しました。続いて今年になってから京都府も廃止しました。70歳を越える生活保護費は1年で25万円減額です。約2、3ヶ月分の生活費になります。

憲法25条でうたわれている『健康で文化的な生活』とは、どのような水準なのでしょう？

たくさんの社会活動に参加して人生を楽しむことは贅沢なのでしょうか？

生存権を守るために、今の弱いものイジメの政治にストップをかけるために今後も頑張りたいと思います」（山科生健会）

「国民の関心の低い郵政民営化を何故、今進めるのでしょうか？小泉首相は改革の本丸と掲げているだけに郵政民営化をはね返せば、小泉悪政の流れを止める事が出来るのではないでしょうか？私たちは最後の最後まで闘いぬくつもりです。共に頑張りましょう！」（郵産労）

「『日本人の93％がBSEによる、致死率100％の変異性ヤコブ病にかかる可能性がある』と厚労省はいいます。にもかかわらずアメリカの圧力で、日本の政府は全頭検査を緩和し、アメリカ牛肉の輸入しようとしています。

憲法9条の問題といい、このBSE問題といい、命がないがしろにされているのではないかと思います。黙っているわけにはいきません。

アメリカいいなりの政治を許しません！」（新婦人）

平和を望む府民の声をいざ世界へ！

今回の府民大集会は、5月にニューヨークで行なわれるNPT（核不拡散条約）再検討会議の直前になります。集会では、集会に参加している代表団が紹介され、代表して京都宗教者平和協議会の酒井さんが決意を語りました。

代表団が行くNPTの再検討会議とは？

1968年、アメリカ、イギリス、ソ連の3カ国で調印し、1970年に発効（1995年に無期限延長）した条約。この条約は、非核保有国に核兵器を取得、保有しないことを義務付けましたが、核保有の5ヶ国（米・英・ロシア・仏・中）には核軍縮交渉を義務付けるのみ（第6条）の不平等な条約。現在、189カ国が参加していますがイスラエルやインド、パキスタンは不参加。（2003年1月に北朝鮮が脱退を宣言している）

集会で決意表明をするＮＰＴ再検討会議に行く代表団

この再検討会議は、5年に1度、開催されます。前回の2000年の会議では核保有国が、「自国の核兵器の完全廃棄を達成する明確な約束」を激論の末盛り込んだ文書が合意されていますが実行されていません。

今回、代表団が参加する目的は、こうした下で5月2日から開かれる再検討会議を前に、ニューヨークで行なわれる100万人規模といわれるパレードと大集会の同時行動に参加するというものです。

今は、『戦前X年』…
無関心なほど怖いものはない

京都総評青年部 舞鶴平和ツアー

「武器も設備も整っている。あとは人間を集めるだけ。法律は最終の仕上げ」。戦争を始める準備が進んでいるという講師の言葉に参加者の緊張感がはしりました。

4月16日から17日にかけて京都総評青年部が企画した『舞鶴平和ツアー』に北は京丹後、南は加茂町から44人の青年が参加し、様々な職種を超えて平和について学習・交流を深めました。

革新知事が防波堤に

一日目は舞鶴地労協副議長の橋本安彦さんを講師に招き、舞鶴軍港の歴史、舞鶴海上自衛隊の現状などの講演を聴きました。

講演では「日本の四大軍港（舞鶴、横須賀、佐世保、呉）のうち、現在米軍が常駐していないのは舞鶴だけ。それはかつて革新知事が防波堤になっていたから」と、我々の運動がんで戦争への道は止められる展望が話されました。

また、すでに着々と戦争への軍備も強化されている、満州事変を例にあげ「戦争は『さあ始めますよ』で開始するのではない。我々の知らないところで始まっている。無関心ほど怖いものはない」と、強調されました。

イージス艦「みょうこう」

講演後、参加者は三グループに分かれ、それぞれの職場・組合での平和運動の経験交流をしました。

美しい景色の地中には弾薬庫が…

二日目は橋本さんをガイドに、実際に東舞鶴港を中心にフィールドワーク。一行を出迎えたのは1隻が何と1200億円以上と言われるイージス艦「みょうこう」でした。とても憲法で戦争を放棄した国とは思えない光景に驚かされるだけでなく、港全体を見下ろせる五老ヶ岳からは、美しい景色の地中には、弾薬庫が無数にあることを教わりました。

以下は、今回のツアー参加者の声です。

「舞鶴では、自衛隊の船が泊まっているのが普通の風景であり、アイデンティティーかな？と思っていました。浮島丸の事や海を取り囲む山の上に砲台があった事なども、今の生活と関わりの単なる歴史としか考えていませんでした。ツアーを通じて舞鶴で生活をする人間として、舞鶴を、戦争と平和の歴史を含んだ豊かな町にしていきたいなと思いました。」（舞鶴市職労 山添衛さん）

「あの新興住宅地の裏は、弾薬庫です」と橋本さんの言葉に息をのむ参加者

他にも、戦争が身近にある事を実感し、無関心でいることの怖さ、しかし自分達の行動が、その流れをストップさせる事が出来るんだというような感想が多く寄せられました。

「残業しているのに、残業代が何で出ぇへんねん！」「年休なんてあってないようなものや！」「結婚したくても給料が安いし出来ひん！将来の見通しも立たへん！」

今、青年を取り巻く雇用の環境は、青年が多く働く派遣労働や請負などに見られるように最悪の状況です。

それをいわゆる「自己責任論」や「勝ち組・負け組論」など、様々なイデオロギー攻撃により、青年は半ばあきらめ、怒りはもっているとしても団結して闘うという知識や経験がないゆえに自らの要求そのものを押し殺しています。

今回の企画《6・12円山青年一揆》は、まさに青年が押し殺している怒りの魂に着火して声をあげようということで敢えて“一揆”という名称で総評青年部をはじめ、京都の高校生・大学生そして青年労働者が集まって3000人規模で円山音楽堂を舞台に決起する事になりました。

今、この国では“青年の労働力を使い捨てにする”という全く逆の事がなされているのではないでしょうか？

青年自らが立ち上がり、何十年ぶりかといわれる規模の集会にご協力をお願いします。

浅井大二書記長は、「タクシー労働者は、お客さんの多い少ないで給料が大きく変わる為、どうしても長時間の労働になります。その中で、最低のラインとして最後の砦です。最賃以下では絶対に生活出来ないし、まずは最賃を守らせる事。そして働くものにとって、その引き上げは非常に必要な事です。」と力強く語りました。

6・12 もはや、「あきらめ」無用！
円山青年一揆で怒りを爆発させよう

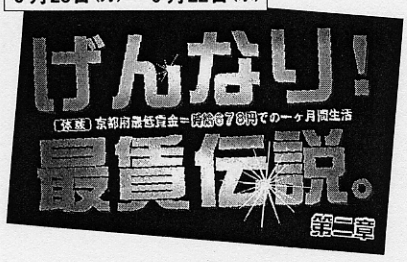
05年最賃闘争スタート！

昨年、京都府最低賃金が1円あがったものの、最低生計費を満たすには程遠い現状にあります。

一方、中央段階で、昨年末に最低賃金のランク分けが一部変更されるとともに、最低賃金を決めていく上で参考とされる賃金実態調査の計算方法が変えられました。この計算方法の変更は、主にパート労働者の急増によるものです。

非正規労働者の急増は、すべての労働者の賃金を引き下げおり、賃金の底上げをはかるために、現在の最低賃金の引き上げを強く求めていく事が重要です。

5月23日（月）～6月22日（水）



以下の日程で署名を集約しますので、積極的に取り組んでいただく事をお願いします。

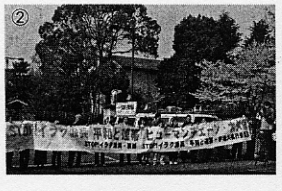
署名（2種類）	集約と日程		
●厚労省・中央最低賃金審議会あて団体署名	第一次	6月22日	集約
●京都労働局宛請願署名（5名連記）		6月23日	宣伝・提出
	第二次	7月5日	集約
		7月6日	宣伝、昼デモ、請願行動、提出

自交総連
「最賃法を遵守せよ」の声に是正の動き広がる

「最賃違反が多く見られるタクシー業界。こうした実態を是正させようと、自交総連は、京都市内と南部で、最低賃金法の書いたビラを配布しました。

こうした行動が功を奏し、違反すると営業停止につながる事もあり、ある会社では2年間さかのぼって労働者に違反金を支払うといった動きができています。

総評フラッシュ



①京都労働相談センター春のホットライン

京都労働相談センターは「労働相談 春のホットライン」、3月31日（木）から4月2日（土）の3日間実施しました。今回は、自由法曹団の協力もありました。

今回は、NHKなどマスコミにも取り上げられ、3日間で通常の約10日分の相談数がありました。

②宇治・大久保でのヒューマンチェーンに450人参加

4月10日、宇治大久保で自衛隊のイラクへの派兵に反対して、大久保基地周辺で450名が参加してヒューマンチェーンを実施しました。

城南勤労者福祉会館で集会をおこない、大久保基地の正門までデモをし、その後ヒューマンチェーンを実施しました。デモからヒューマンチェーンに移ると大久保基地の南側フェンスにそって見渡すかぎり人の列がつづき、「平和」と染め抜いたのぼりや虹の旗がはためきました。そして、自衛隊基地に向って、また市民に向かって、「自衛隊はイラクへ行くな」「自衛隊をイラクから撤退させよう」とシュプレヒコールをおこないながらヒューマンチェーンを行ないました。

③4月7日、ラポール京都で労働法制改悪問題緊急学習会

今国会で提案されている労働法制改悪に反対し、「労働法制改悪反対京都連絡会」再開の位置づけで開いたものです。16労組・団体51名が滋賀大経済学部・大和田敢太教授の講演に熱心に耳を傾けました。